

1 学校経営の概要

(1) 学校教育目標

『豊かな心もち、一人一人の生徒が光りがやく学校』

【めざす生徒像】

- ・目標達成のために、努力・工夫できる生徒
- ・仲間と共に困難に立ち向かえる生徒
- ・自分も他の人も大切にできる生徒
- ・良き伝統（挨拶・歌声・清掃）を継承・発展させる生徒
- ・健康的な生活を心掛けることができる生徒

【めざす教師像】

- ・生徒の良さを認め、伸ばすことのできる教師
- ・学習の楽しさを味わわせることのできる教師
- ・愛情と厳しさを合わせもつ教師
- ・率先垂範できる教師
- ・生徒を理解し、教育実践に反映させる教師

(2) 経営の基本方針

『チーム学校でことに当たり、生徒への教育を充実させる』

① 「自ら学び、思考し、表現する力」の育成。

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得の徹底を図る。
- ・思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・学習意欲を高める。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。

② 自分も他人も大切にできる生徒の育成。

- ・思いやりのある豊かな心や規範意識を育むとともに、社会性、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・多様で効果的な道德教育の指導方法を積極的に導入し、道德的実践力を育成する。
- ・生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育に全校体制で取り組む。

③ 健康・安全に気をつけ、規則正しい生活のできる生徒の育成。

- ・望ましい生活習慣を確立し、一人ひとりの生徒が健康で安全な生活ができるように全職員が連携を密にし、組織的に取り組む。
- ・部活動等で運動技能や協力心を高め、健やかな体と精神をつくり、継続する力と集中力、耐性力をつける。
- ・災害等に対し自助・共助の考えに基づき的確に行動できる能力と態度を育成するとともに、ボランティア活動の大切さを理解するなど、防災意識の高揚を図る。
- ・家庭や地域社会と連携し、生涯にわたり望ましい食生活を送ろうとする態度を養う。
- ・食育に関する認識を深め、残食を少なくしていけるように指導していく。

④ 地域とともに歩む学校づくりを進める。

- ・家庭・地域と連携した安全・安心で信頼される学校を目指す。
- ・家庭・地域・関連機関等の連携を深め、生徒の健康や学校環境の安全確保に努めると共に、交通安全指導の充実を図る。
- ・スクールメールを活用し、安全等の情報を提供していく。
- ・授業参観や学校公開、ホームページや学校だよりなどを活用して、積極的に学校の情報を家庭・地域に提供する。
- ・地域人材・地域資源を積極的に活用する。

⑤ 勤務の効率化を図り、働き方改革を意識した経営に努める。

- ・常に職場実態と年間を通した業務の繁閑を把握し、職員及び各校務分掌への業務の適正な配分と計画的な遂行に努める。
- ・職員一人ひとりが、自己又は分掌の担当する業務について常に問題意識を持ち、事務・事業の点検を行い、目的、効果及び必要性に照らし、抜本的な見直しを行うなど大胆な事務の合理化を図る。
- ・一年間を見通して計画的に行う意識を持ち、心身の健康を保つことができる環境を整える。

⑥ 職員のモラールアップ、不祥事根絶に向けての取組。

- ・学校の諸会議や部活動等について、職員の休憩時間を確保した上で、勤務時間を考慮した時間設定を行うとともに、職員の出退勤時間を、週案や記録簿により客観的に把握し、記録する。
- ・モラールアップ委員会を活用し、職員間の風通しの良い人間関係づくりを推進し、何でも話し合える環境を構築する。

(3) 教育課程編成の基本方針

① 教えることと考えさせることのメリハリをつけた授業を組み立て、獲得した知識や技能を活用する授業を展開し、思考力、判断力、表現力を育成する。

- ・中学校で初めて学ぶことは、丁寧にきちんと教えていく。問題解決を図るために教えるべき内容と獲得した知識・技能を活用する学習を計画的に取り入れ、メリハリをつけた授業を展開する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を多く取り入れ、授業の中で、「主体的な学び」「学びの協働」の場面を意図的に作り、思考・判断・表現力を育成する。
- ・全教科で生徒の発達段階を考慮して、「生徒の言語活動の充実」を意識した学習形態を確立する。「この時間で学習したことは何か、時間をかけて自分の言葉で具体的に表現できる」この繰り返しを全教科で取り組む。

② 校外学習については、発達段階に応じた一貫性を持ち、それぞれの学年で身につけたい目標があることを意識して、意図的・計画的に実施する。

- 1年次・・・地域を知るⅠ（比較） 校外での小集団活動（校外学習）
- 2年次・・・地域を知るⅡ（比較） 校外での小集団活動（校外学習）
- 3年次・・・地域から外へ（出発） 未知の世界の実体験（修学旅行）

③ 「総合的な学習の時間」はキャリア教育を柱とし、身につけさせたい力を明確にしながら取り組む。

全学年ーみんなで授業・みんなが授業

【自分が興味・関心があるものを探求し、自ら授業する】

1年次ー地域の環境・伝統文化を学ぶ ・夢の懸け橋プロジェクト

【自他の理解能力、コミュニケーション能力、職業理解能力】

2年次ー職場体験（印西市生き生き体験） ・夢の懸け橋プロジェクト

【コミュニケーション能力、職業理解能力、役割把握・認識能力、選択能力】

3年次ー歴史的文化を学び体験する、自己の生き方の探究など

【自己理解能力、情報収集・探索能力、計画実行能力、選択能力、課題解決能力】

④ 道徳教育と行事や諸活動との関連を明確にし「人間としての生き方」の自覚を図る。

- ・「道徳の時間」を要として、学校の教育活動全体を通じて行う。特に行事や諸活動と関連づけ、ねらいに合わせた人間力が身につけられるようにする。
- ・職場体験活動や自然体験活動、ボランティア活動などの豊かな体験活動を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ・集団の一員としての自覚と責任を持てるようにする。
- ・自他の生命を尊重する心を養う。

⑤ 健康や安全に対する意識を高め、積極的に体力づくりに取り組めるようにする。

- ・部活動等を通して、自己の体力づくりに努め、健康を意識できるようにする。
- ・食の重要性を認識させ、生活習慣病の防止に努めさせる。
- ・安全教育を適切な時期に実施し、安全な生活を意識できるようにする。

2 年間予定授業時数

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	年間時数
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

3 日課時刻表

※最終下校時刻は通年16:30

	6時間日課	5時間日課
職員打ち合わせ	8:00～8:05	8:00～8:05
朝読書	8:10～8:20	8:10～8:20
朝の会	8:20～8:30	8:20～8:30
1校時	8:40～9:30	8:40～9:30
2校時	9:35～10:25	9:35～10:25
3校時	10:30～11:20	10:30～11:20
4校時	11:25～12:15	11:25～12:15
給食・昼休み	12:15～12:55	12:15～12:55
清掃	13:00～13:15	13:00～13:15
5校時	13:25～14:15	13:25～14:15
6校時	14:20～15:10	
帰りの会	15:10～15:25	14:15～14:30
下校時刻	15:40	14:45

本塾中の三本柱

挨拶は心を開き

歌声は心を繋ぎ

清掃は心を磨く

木曜日は5校時日課

原則、火・木はノークリーンDay

火曜日は学級優先日

木曜日は専門委員会 全校評議会

4 研究の概要

(1) 研究主題

基礎・基本の定着を図り、生徒一人ひとりの自主的な学習態度の育成を図るための工夫はどのようなにしたらよいか。～学ぶ楽しさを見いださせるための授業・教材の工夫～

(2) 教科・領域の努力点

国語科	・言語についての基礎力を高めることで、読むことや書くこと的能力を育てる。
社会科	・基礎、基本を明確にして定着させる。 ・課題をつかむ、調べる、課題を解決する。 ・読む、書く、発表する学習を進める。
数学科	・基礎、基本を確実に定着させるとともに、意欲をもって学習に取り組める生徒を育てる。
理科	・身近な自然や科学的な事象に対する興味、関心を高め、実験、観察を通して科学的な思考力や表現力を育成する。
音楽科	・音楽のしくみ、音楽の諸要素を知覚し、音楽の美しさを感じて育める。
美術科	・豊かに感じ取り、ねらいを持って造形しようとしていくことができる生徒の育成を図る。
技術・家庭科	・確かな知識と技術を身につけ、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導のあり方
保健体育科	・学ぶ意欲を持ち、仲間とコミュニケーションをとりながら体力・技能の向上に努める。
外国語科	・基礎、基本の定着を図るとともに、積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度を育てる。
道徳科	・相手の気持ちや立場を理解し、思いやりと勇気を持って行動できる生徒の育成。
特別活動	・よりよい学校生活を築こうとする自主的な態度を育てるとともに、自己の生き方について考える態度を育てる。
総合的な学習の時間	・環境の重要性を考え、健康で有意義な自己の生き方を積極的に考えようとする姿勢を身につけさせる。
人権教育	・教育活動のあらゆる場面を通して人権尊重の精神を身につけ、差別しない、それを許さない生徒を育成する。
特別支援教育	・自己肯定感を高める指導を通じ、生きる力を育成する。 ・基本的生活習慣を自ら徹底させ、相手の気持ちを思いやる心を持ちながら協力、活動ができる生徒の育成を図る。
教育相談	・生徒の心や悩みを理解する機会を多くの場で見つけ、解決の方途を心理発達の視点から共感的立場で考え、適切な助言を与え、心の安定を図る。

5 主な学校行事

4月	始業式、入学式、避難訓練、学校開放日、PTA総会、全国学力・学習状況調査	10月	生徒会選挙、本埜地区音楽祭、教育相談、
5月	学校開放日、PTA美化作業、教育相談、生徒総会、修学旅行 本埜中学校区有価物資源回収	11月	学校公開日、3年三者面談 本埜中学校区有価物資源回収 2年生生き生き体験（職場体験）
6月	1・2年校外学習（鎌倉方面）	12月	1・2年保護者面談、ふれあい交流会 夢の懸け橋プロジェクト、終業式
7月	全校水泳、防犯教室、学期末保護者会、終業式、3年三者面談	1月	始業式、避難訓練、新入生保護者説明会・体験入学、教育相談
8月	3年三者面談、PTA美化作業	2月	公立高校学力検査、予餞会
9月	始業式、避難訓練、体育祭	3月	卒業式、1・2年学年末保護者会、修了式、離任式